

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

事業名【新】Uターンプレ就活応援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業人材課 人材確保係 電話番号：058-272-1111(内3292)

E-mail：c11369@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 35,795 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	35,795	17,805	0	0	0	0	0	0	17,990
決定額	35,795	17,805	0	0	0	0	0	0	17,990

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県では、進学時に流出する若者が多く、大学進学者の8割近くが他県の大学に進学するが、愛知県の大学に進学する若者は5割で圧倒的に多い。一方、県外へ進学した者の県内就職率(Uターン率)は、3割程度だが、愛知県への進学者を中心にUターン者が増加傾向にある。

そこで、県外、特に愛知県の大学に進学した学生に対して、WEBの活用やイベント開催等を通じて県内企業の魅力を効果的に情報発信し、県内就職を促進する事業を実施する。

(2) 事業内容

県外進学者を対象に、就活学生向けに岐阜県の企業情報が網羅された就活支援常設サイトと連携した県内企業魅力発信、大学との連携によるUターン促進セミナー、年度後半に開催される県内最大級の就活フェス「オール岐阜企業フェス」に向けたUターン希望者向けプレイベントを開催し、Uターンの促進を図る。

①各県外大学の特性に応じたキャリアセンター連携によるプレ就活事業の実施

協定締結大学や県出身学生が多く在籍する大学を中心に、専攻や志望の多い職種等の各大学の特性を踏まえたうえで県内企業、Uターン就職情報を提供する。

②Uターンをテーマとしたプレ就活イベントの実施(学生向け、保護者向け)

愛知県内の大学に進学した県出身学生を対象に、岐阜県で働く魅力をPRし、学生と県内企業の交流の場となるUターン促進イベントを実施する。また、オンラインイベントでは、県外に進学した学生に対して広く企業の情報発信を行い、Uターン就職を促す。

保護者に対して、現在の就職活動に関する情報、県内就職の魅力の紹介等を行う。

- ③就活支援常設サイトと連携した、Uターン就職情報特設サイトの整備
 就活準備、県内企業の探し方、Uターンイベント情報等を掲載した特設サイトを作成し、就活支援常設サイトと連携して県内就職を促す。
- ④SNSを活用し、WEBによる情報発信を強化
 SNSのターゲティング配信等を活用し、県内企業、Uターンイベント情報等を提供するとともに、就活支援常設サイトへ誘導する。

(3) 県負担・補助率の考え方
 全額県負担

(4) 類似事業の有無
 有 Uターン就活応援事業 (大学4年生向け)

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	42	プロポーザル評価員報償費
旅費	141	費用弁償、業務旅費
需用費	1	会議費
委託料	35,611	Uターンプレ就活応援事業委託料
合計	35,795	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

【「清流の国ぎふ」創生総合戦略】

Ⅲ. 具体的な施策 1. ひとを育む (5) 地域経済を支える人材の育成・確保

【岐阜県成長・雇用戦略2017】

2 各重要プロジェクト

[1] 産業人材確保対策プロジェクト

(2) 国・他県の状況

18府県が大学低学年のUターン就職促進に向けた取り組みを実施している。

(3) 後年度の財政負担

学生を取り巻く就活環境に応じて事業内容を見直しながら継続的に実施。

(4) 事業主体及びその妥当性

Uターン施策の観点から、県が事業主体となることが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

協定締結大学、愛知県内の岐阜県出身学生が多く在籍する大学等と連携し、県外に進学した若者の岐阜県への呼び戻しを促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①Uターン率	31.0%	31.0%	35%	39%	50%	62%

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	コロナ禍を受けて、Uターン就職への関心が高まる中、県出身学生等に最新の企業情報、就活情報を提供していく必要性は高く、あわせて、県内企業で働く魅力を発信することで、県外学生の呼び戻しを図る。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県出身大学生が多く在籍する大学との連携を強化し、学内での岐阜県Uターン促進事業を実施する等、積極的かつ効果的に県出身学生へのアウトリーチを行なっていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 若者の県外流出を食い止め県内企業への人材確保を推進するために、今後も積極的にUターン就職を促進する施策を展開していく必要がある。
--

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
